



AETO & AEP2

Asian and Middle Eastern Studies, Part IA and Preliminary Examination
for Part II

Monday 30 May 2016 09.00 to 12.00

Paper J3

Modern Japanese texts 1

Answer all questions.

*Write your number **not** your name on the cover sheet of each answer booklet.*

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

Section A

(1) Translate the following passage from a **seen** text into English and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

「娘は無事なんでしょうか……」

おそらく一睡もしていないのであろう、やつれ果てた母親の懸命な表情に、神宮寺は無言で目を逸らすと、サイドテーブルの煙草に手を伸ばし――

ピーッ、というエラー音と共に、突然キーボードが反応しなくなつた。

「ちつ、またかよ」

俺は舌打ちをして、机を叩いた。ようやく調子が出てきたというのに、うつかり主人公の神宮寺探偵に煙草を吸わせてしまつたのだ。

シリアルスなシーンの最中に、間の抜けた注意書きが自動的に挿入されていく。

【喫煙は、あなたにとつて肺気腫や脳卒中、ガン、心臓病等の危険性を高める恐れがあります。また、他人に煙草の煙を吸わされる受動喫煙は――】

きつかけは、夫を肺ガンで亡くした一人の女性の訴えだつた。

煙草の吸い過ぎが原因で夫が肺ガンになつたのは、元はといえば夫が愛読していたハードボイルドの主人公がベースモーカーで、その影響を若い頃から受けていたからだ――そんな女性の訴えが、世論の後押しを受けて最高裁で勝訴し、作者と出版社に多額の賠償金が課せられたのだ。

その判決をきつかけに、同じような訴えが次々と起こされた。酒、ギャンブル、不倫――ある作家は、作中で出てきたカーチェイスと同じように運転したら事故を起こしたと訴えられ、別の作家は、発表した恋愛小説と同じ方法で告白したら振られてしまつたと訴えられた。

裁判所の前例踏襲主義によつて、それらの訴えは次々に勝訴していき、気がつけば、出版社は半分以上が倒産、作家の七割が廃業に追い込まれていた。そのころになつて、ようやく「表現の自由」を危ぶむ声が高まり、その結果、注意書きが入つていれば責任は問われない、という結論になつたのだ。

MORIE KENJI, Chūgaki, in Atōda Takashi (ed.), *Shōto shōto no hanataba 2* (2010), pp. 157-8.

(b) なんでしょうか Explain the use of のでしようか in this context and give two examples in Japanese with English translations. [4 marks]

(c) Line 6: explain the use of のに and give two examples in Japanese with English translations. [4 marks]

(d) 吸わせてしまったのだ Explain the meaning of てしまった. Give one example in Japanese. Give also the English translation. [4 marks]

(TURN OVER)

(2) Translate the following passage from a **seen** text into **English** and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

て、車は水の上をするようだつた。
「ここでブレーキを踏むとどうなるか」とい、運転手はブレーキを突然踏んだ。

どうやらまざい車に乗つてしまつたらしい。私は身を硬くした。
信号が赤に変わつた。

「ここでアクセルを踏むとどうなるか」

運転手は赤信号を無視してアクセルを踏んだ。私は運転手からなるべく離れようと、座席に背中を貼りつけた。

運転手はしばらく黙つてフロント硝子ガラスの向こうの真つ青な空を睨みつけていた。

「石は突然落ちてくる」

私は驚いて天井を見て、

「ええっ、石が落ちてきたんですか。」かすれた声で訊いた。

「石は突然落ちてくる」運転手は静かに繰り返しました黙り込んだ。

私は背筋が寒くなつた。息を殺して通り過ぎて去く車が影のように見えた。
一刻もはやく目的地に着いて欲しかつた。

目的地に近づくと運転手はふつと、五年前ふたりの子どもを連れて失踪しつそうし
てしまつた妻のことを話はじめた。そして何かを凝視するように目を据え、
行方を捜したけれどどうしても見つからない、と他人事のようになつた。

YŪ MIRI, *Ishi wa totsuzen ochite kuru*, in *Sakana ga mita yume* (2000), pp. 124-5.

- (b) 車は水の上をすべるようだった。 Explain the function of よう in this sentence. How would you translate 車は水の上をすべった? [4 marks]
- (c) 通り過ぎて去く車が影のように見えた。 Explain the meaning of -て去く (similar to -ていく). [4 marks]
- (d) 子どもを連れて失踪してしまった妻のことを話しあじめた。 Who or what is the subject of this sentence? Explain the meaning of -てしまった and give one example sentence in Japanese with English translation. [4 marks]

(TURN OVER)

(3) Translate the following passage from a **seen** text into English:

[12 marks]

静かな夜ふけ。エフ博士の研究所のそばに、ひとりの男がひそんでいた。その男は泥棒だった。
エフ博士はこれまでに、すばらしい薬をつぎつぎと発明してきた。まもなく、また新しい薬を完成するらしいとのうわさだった。男はその秘密を早いところ盗み出し、よそに売りとばそうという計画をたてたのだ。
男は窓から、そつとのぞきこんだ。なかではエフ博士がひとり、むちゅうになつて薬をませあわせている。熱中しすぎて、のぞかれていることに気がつかない。
やがて、少量の薬ができあがつた。みどり色をした液体だった。博士はそれを飲み、大きくうなづいた。
「うむ、味は悪くない。においもこれでいいだろう……」
そして、のびをしながらつぶやいた。
「やれやれ、やつとできた。今までにわたしは、いろいろな薬を作った。しかし、待ちかまえていた男は、仕事にとりかかつた。注意して窓をこじあけ、なかにしのびこむ。さつき博士がやつた通りに金庫のダイヤルの番号を合わせると、簡単にあけることができた。男は書類をポケットに入れ、うれしそうな足どりで逃げ出した。
「しめしめ、これでひともうけができるぞ。博士が飲んだところをみると、人体に害のないことはたしかだ。それに、すごい薬とか言っていた。だが、どんな書きめがあるのだろうか……」

HOSHI SHIN'ICHI, *Bokkochan* (2003), pp. 296-97.

Section B

(4) Translate the following passage from an **unseen** text into **English**:

[40 marks]

コーヒーを飲んでしまった僕と緑は病室に戻った。父親はまだぐっすりと眠っていた。耳を近づけると小さな寝息が聞こえた。午後が深まるにつれて窓の外の光はいかにも秋らしいやわらかな物静かな色に変化していった。鳥の群れがやってきて電線にとまり、そして去っていった。僕と緑は部屋の隅に二人で並んで座って、小さな声でいろんな話をした。彼女は僕の手相を見て、あなたは百五歳まで生きて三回結婚して交通事故で死ぬと予言した。悪くない人生だな、と僕は言つた。

四時すぎに父親が目をさますと、緑は枕もとに座つて、汗を拭いたり、水を飲ませたり頭の痛みのことを訊いたりした。看護婦がやってきて熱を測り、小便の回数をチェックし点滴の具合を見たしかめた。僕はTV室のソファーアに座つてサッカー中継を少し見た。

「そろそろ行くよ」と五時に僕は言った。それから父親に向つて「今からアルバイトに行かなきゃならないんです」と説明した。「六時から十時半まで新宿でレコード売るんです」

彼は僕の方に目を向けて小さく肯いた。

「ねえ、ワタナベ君。私今あまりうまく言えないんだけど、今日のことすごく感謝してるのよ。ありがとう」と玄関のロビーで緑が僕に言つた。

「それほどのことは何もしないよ」と僕は言った。「でももし僕で役に立つのならまた来週も来るよ。君のお父さんにももう一度会いたいしね」

「本当?」

「どうせ寮にいたってたいしてやることもないし、ここにすればキウリも食べられる」

緑は腕組みをして、靴のかかとでリノリウムの床をとんとんと叩いていた。

MURAKAMI HARUKI, *Noruei no mori*, vol. 2 (1987), pp. 88-9.

(TURN OVER)

について as X, then Y.	測る measure
縁 character's name	小便 urine, pee
ねむる 眠る	点滴 intravenous drip
寝息 one's breath during sleep	中継 broadcast
まど 窓	うなずく 肯く
群れ group, crowd	感謝 gratitude
隅 corner, nook	寮 dormitory
手相 lines on one's palm	いたって = いても
予言 predict, foretell	たいして = そんなにたくさん
目をさます wake up, come to	キウリ cucumber
枕もと area next to pillow	腕組み folding one's arms
汗を拭く wipe/dry sweat	くつ 靴
かんごふ 看護婦	かかと heel
	とんとんと叩く tap

END OF PAPER